

令和6年度 職員の給与の男女の差異の情報公表

特定事業主名：神河町

1. 全職員に係る情報

職員区分	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
任期の定めのない常勤職員	99.6%
任期の定めのない常勤職員以外の職員	72.7%
全職員	102.3%

2. 「任期の定めのない常勤職員」に係る役職段階別及び勤続年数別の情報

* 地方公共団体における「任期の定めのない常勤職員」の給料については、各地方公共団体の条例で定める給料表に基づき決定されており、同一の級・号給であれば、同一の額となっている。

(1) 役職段階別

役職段階	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
本庁部局長・次長相当職	-%
本庁課長相当職	97.4%
本庁課長補佐相当職	100.9%
本庁係長相当職	95.2%

(2) 勤続年数別

勤続年数	男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合)
36年以上	106.9%
31～35年	92.4%
26～30年	92.0%
21～25年	95.5%
16～20年	118.6%
11～15年	89.8%
6～10年	90.5%
1～5年	88.8%

【説明欄】

- ・全体的に、給与の一部として支給している扶養手当、住居手当については、世帯主である男性に支給している場合が多い等の要因で、女性に比べて男性の給与額が高くなっている。
- ・本庁課長補佐相当職に占める女性職員の割合が高くなり、給与差異が小さくなっている。
- ・勤続年数36年以上で、男性の定年常勤職員から常勤職員以外の職員への移行が多く、給与差異が昨年度から約9%増加している。
- ・任期の定めのない常勤以外の職員について、男性職員は一般事務職と技能労務職の職員が在籍しているが、女性職員は技能労務職の職員しか在籍していないため、差異が大きくなっている。

* 勤続年数は、採用年度を勤続年数1年目とし、情報公表の対象となる年度までの年度単位で算出している。